

医科学演習

教育内容

1. 各研究室で定例的な演習を行う。以下のような医科学研究の遂行に必要な基本技能の養成を目的とする。英語論文の批判的読解能力、実験仮説を組み立てる能力、口頭発表・討論の能力、論文作成能力を養成する。
2. 半期に1回、修士課程全体で発表・討論の演習を行う。修士課程の全学生と全教員が一堂に会して各自の研究目的、研究方法論、研究進捗状況、反省点や今後の課題などについて徹底的に議論し、修士論文作成に向けて実践的に教育する。

担当教員

各学生の所属する研究室の担当教員

医科学特別研究

教育内容

各学生が所属する研究室で実験を軸とした演習を行う。実験技術に関する実技教育も含むので、実習でもある。前記の医科学演習とも連携して、実験仮説の組み立て、仮説の実証に至る実験方略、データ収集法、仮説検証過程の自己検証、論文化の方略と技術を実践的に指導し、修士論文を作成させる。

担当教員

各学生の所属する研究室の担当教員

地域医療学特別研究

教育内容

地域医療学について修士論文を作成させる。又は修士論文に代えて地域医療実習Ⅰおよび地域医療実習Ⅱにおいて学んだこと等の特定の課題について研究の成果報告を作成させる。

担当教員

各学生の所属する研究室の担当教員

シミュレータ教育特別研究

教育内容

シミュレータ教育について修士論文を作成させる。又は修士論文に代えてシミュレータ教育実習Ⅰおよびシミュレータ教育実習Ⅱにおいて学んだこと等の特定の課題について研究の成果報告を作成させる。

担当教員

各学生の所属する研究室の担当教員

地域包括ケア特別研究

教育内容

地域包括ケアについて修士論文を作成させる。又は修士論文に代えて地域包括ケア実習Ⅰおよび地域包括ケア実習Ⅱにおいて学んだこと等の特定の課題について研究の成果報告を作成させる。

担当教員

各学生の所属する研究室の担当教員